

上南だより

H P <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000010910.html>

E-mail jounankouminkan@city.okayama.lg.jp

Facebook <http://www.facebook.com/JounanKouminkan/>

第431号

2025. 7. 1 発行

岡山市立上南公民館

〒704-8166 岡山市東区君津636

TEL & Fax 948-3352



H P



Facebook



文学創造都市 おかやま

「ふるさと九幡に時実新子文学碑が建立されるまで ①」

令和6年度岡山県高等学校教育研究会国語部会「岡山高校国語61」の表紙は「手に掬い手からこぼして吉井川 新子」の川柳の短冊であった。資料提供は吉備路文学館とも書かれ、岡山県内の高校国語教員が手にする研究誌の表紙となったことは、まことに歓迎すべきことだ。というのも同じ自筆短冊から写した川柳句碑が2024年1月に、生誕地近くの吉井川河畔十番燈籠横に建立され、公民館でも本格的に顕彰活動に取り組み始めたところであった。新子は1929年1月23日に九幡で生まれ2007年3月10日に神戸で死去した。17歳で姫路に嫁ぎ、25歳の神戸新聞川柳投句を契機に川柳に取り組み、「句集有夫恋」がベストセラーとなり現代川柳をけん引し続けた。その新子が生誕から17歳までを過ごした場所が、岡山市東区九幡であることをまず地元から広めていく第一歩が句碑の建立であった。まず、地域の方に時実新子の足跡を知ってもらうことが、上南公民館の使命であると考えている。次号から建立までのいきさつにふれる。

(上南公民館館長 岡崎)

主催講座のご案内

* 申込不要の講座以外は、締切日までに申込みをしてください。

入門講座「子育て世代の資産運用」 参加無料

生活費だけで貯金も十分できないし、そうかといって、最近よく聞くNISAも、証券投資も良く分からないし、相談する相手や場所も知らない…。

そんな若い世代向けの資産運用と証券投資の入門講座です。ご家族や友人と、資産運用について話す第一歩にしてみませんか。

日 時 7月12日(土) 13:00~15:00

講 師 加藤 裕通さん

(中銀証券株式会社代表取締役社長)

定 員 30人

切 7月10日(木)

申 込 公民館窓口、または電話で

スマホ講座「LINEを使いこなそう！」

7月から5回シリーズで、LINEについてじっくり学ぶ講座です。私たちが日常頻繁に使っているLINEですが、実は使いこなせていない便利な機能がたくさんあります。

第1回 日 時 7月7日(月) 13:30~15:00

内 容 LINEの基礎

第2回 日 時 8月29日(金) 13:30~15:00

内 容 LINEの応用

○定 員 各回20人 ○参加費 無料

○申 込 公民館窓口、または電話で
※スマホをお持ちでない方は貸出があります。
お申し込みの際にお申し出ください。

○切 第1回は7/3(木)まで 第2回は8/22(金)まで

※9月以降も内容を変えて計画しています。

わかがえりかい あっすれ！もも太郎体操「若返会」

ほとんど椅子に座っての約50分の体操です。地域のみなさんと一緒に続けてみませんか。いつからでも参加できます。

実施日 毎週金曜日の9時30分～

7月4日、11日、18日、25日、

8月1日、8日、15日、22日、29日

持ち物 動きやすい服装、水分補給用の飲み物

場 所 1階ロビー

※申込不要。初回のみ参加票に記入していただきます。

公民館カフェ(7月)

日 時 7月4日(金) 10:00~12:00の間

※8月はカフェをお休みします。

内 容 お好きな時間にお越しいただき、ゆったりおしゃべりなどしながらお過ごしください。

場 所 小会議室

お茶代 100円(コーヒー、紅茶、お茶など
おかわり自由・一口チョコつき)



上南公民館だよりは毎月発行しており、各町内会長様のご厚意で上南地区全戸に配布していただいています。いつもご協力をありがとうございます。

上南シネマ 「小腹も心も満たします」41話～44話を上映

「深夜食堂」

日 時 7月14日(月) 13:30～15:10 

作 品 2019年 日本

出 演 小林 薫、仲村トオル、山口美也子 他

定 員 30人 〆 切 7月13日(日)

パソコン相談&学習ルーム

パソコンに関する相談にボランティアが対応します。

日 時 7月10日(木) 13:30～15:00
※8月はお休みします。 

受講料 無料 申 込 不要

講 師 パソコンサークル上南

持ち物 筆記用具、ご自身のノートパソコン(出来る限り)

※相談について、ボランティアでも対応しかねる場合があります。ご了承ください。

上南いきいき教室

一緒に健康づくりをはじめませんか？どなたでもお気軽にご参加ください。

日 時 7月15日(火) 14:00～16:00

内 容 お口のケアグッズの選び方・使い方

講 師 岡山市ふれあい介護予防センター

対 象 おおむね65歳以上の岡山市民

持ち物 筆記用具、水分補給ができるもの

参加費 無料 申 込 不要

上南中学校音楽部 & 上南ウインズ

たなばた
七夕コンサート

日 時 8月2日(土) 11:00～11:40
(10時45分開場)

参加費 無料

申 込 不要

※楽しい時間を過ごしましょう。
みなさんぜひお越しください！

上南高齢者大学



文学創造都市 おかやま

本づくりはまちづくり

郷土の本を出版し続けている吉備人出版の山川さんに思いを語っていただきます。

日 時 7月24日(木) 10:00～12:00

講 師 山川 隆之さん
(株式会社吉備人出版編集者・代表取締役)

定 員 30人 参加費 無料

〆 切 7月22日(火)

ちびっこわいわい ふれあい水あそび

日 時 7月22日(火) 10:00～11:30 

対 象 未就学児とその保護者

※家族であれば一緒に小学生の参加も可
3組(おやこクラブ会員は除く)(先着順)

定 員 持ち物 水着、着替え、タオル、飲み物、シャボン
玉や水鉄砲など水遊びに使えるおもちゃなど、おむつをしている子はブル用おむつ

参加費 無料 〆 切 7月18日(金)

発達障害についての学習・情報交換と交流の場所

オレンジクローバーの会

日 時 7月28日(月) 10:00～12:00

内 容 子ども達をとりまくSNSについて

対 象 どなたでも 定 員 20人

参加費 無料 持ち物 筆記用具、飲み物

〆 切 7月26日(土)

小学生対象の夏休み講座のご案内

★小学生対象の夏休み講座を企画中です。

申込期間は：7月5日(土) 9時30分から、先着順になります。詳しい申込の仕方や講座の内容については、小学校を通して6月下旬に配布されるチラシ・申込用紙をご覧ください。

オレンジクロスプロジェクト ～タオルの寄付にご協力ください～

岡山市地域包括支援センターでは、認知症の当事者の方、デイサービスの利用者の方たちと一緒に、オレンジクロス(認知症支援のシンボルカラーであるオレンジの糸を使用したぞうきん)作りのため、地域みなさんにタオルの寄付をお願いしています。

上南公民館で受付をしていますので、自宅に眠っているタオルがありましたらお持ちください。

- ・可能であれば白色(多少の柄や文字は可)
- ・使用済のタオルは洗濯しているもの。
- ・タオルの大きさは問いません。



休館日：毎週水曜日と祝日(7月2日、9日、16日、21日、23日、30日)

開館時間：(平日) 9:30～21:00 (日曜) 9:30～17:00

「さっちゃん家」に、いつでも、どなたでも、お気軽にお越しください。

グループホームさっちゃん家 中野光子さん

近年、さまざまな分野において、「伴走型」という概念が重要視されるようになっていきます。介護の現場も同様で、この度、認知症伴走型支援拠点として東区で初めて取り組みを始めたグループホームさっちゃん家の中野さんにお話を伺いました。

—認知症伴走型支援が必要な背景は？

高齢化社会が加速する中、認知症の方を取り巻く環境や家族が直面する課題が多様化、複雑化しています。介護者と被介護者の両方が認知症状態である「認認介護」「8050問題」などがイメージしやすいかと思いますが、経済的なこと、介護ストレス、社会的孤立などが課題となり、包括的な支援が必要になっています。現場では、課題に対して切れ目のない支援、介護する方の不安や孤立に寄り添うことが求められるようになりました。また、認知症の方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるような社会の実現も急務です。

—今回、「さっちゃん家」に認知症伴走型支援拠点の窓口を開設した理由は？

認知症は早期に適切な対応をすることで、進行を緩やかにできる場合がありますが、介護認定を受ける手順などの相談がほとんどのように思います。

また、私たち現場は、本人らしく幸せに過ごしてもらえるように家族と相談しながら接していますが、生きがいややりがいに繋がるものは人それぞれですし、本人はどう思っているんだろう、負担になってないだろうか、と悩むこともあります。私たちができることは精一杯やっていますが、もし、本人と家族が、これからの生き方について話し合いをしていたら、本人の意思を尊重できたかもしれないと考えることがあります。常々、そのお手伝いができないかと考えていたので、伴走型支援事業は、まさに今、必要なことだと思い、当施設で取り組んでいくことを決めました。

—地域のみなさんへ

認知症の方が社会と繋がり続けるには、専門機関、家族とともに課題に向き合い、最善策を模索することはもちろんですが、地域の方にこの取り組みについて知ってもらい理解を深めていかなければ実現しません。私たちは手探りで、今できることに奔走していますが、まずは地域に出て顔の見える関係づくりを目指しています。

また、この取り組みは事例も少なく、イメージがしにくいので、私たちも勉強や経験が必要になり、地域の理解を得るのも時間がかかると思っています。まず第一歩として、認知症のことや困りごとなど、認知症に関わりがある方もそうでない方も、地域内外の誰もが気軽に集えるような場所を作り、地域のニーズや情報を得るところから始めてみようとして認知症カフェを開設します。昭和のレトロな空間をイメージし、黒電話やレコードなどのアナログ機器や当時流行したものなど、懐かしい品を集めたいと考えています。古き良き時代を感じ、ゆったりと時間が流れる空間に、いつでも、誰でもお話をしに来てもらえれば嬉しいです。お手伝いや懐かしい品のご提供也大歓迎ですね。送迎も検討できますので、まずはご連絡ください。



利用者さんと
中野さん→



写真でみる
Kouminkan



5/23(金)24(土)
地域ふれあい事業 苗の交換会

恒例イベントとなり約40人の参加がありました。

1日目は雨でしたが、花や野菜のなどたくさんの方の苗が集まりました。今年は特にトマトの苗が人気で、育て方についてボランティアの方にレクチャーを受けていました。

5/25(日)第8回上南今昔絵図めぐり
ウォーキング

前日の雨で延期しましたが、小学生5人を含む30人の参加がありました。芥子山山頂までの道中、歴史の会の方の説明を聞きながら、芥子山頂上まで全員そろってたどり着くことができました。



6/15(日)ミュージカル『シェアハウス』
地元や市内各地から30人の参加がありました。

脚本や演出、作曲はオリジナルで演者は3人。シェアハウスという空間で、時空を超えての出会いと絆に胸が熱くなり、少し切ないラストで幕を閉じました。

令和7年度 岡山市東区社会福祉大会

高齢者や子育て支援、健康づくり、生きがい活動など、さまざまな分野の活動にご尽力された岡山市東区地域の皆様を表彰します。

地域の皆様と手を取り合い、支え合いの気持ちを伝え、助け合いの活動を増やしていきたい！
この大会が、東区の地域福祉活動をますます上げていくきっかけになれば幸いです。

《開催日時》 令和7年9月6日(土) 13:30～16:00(開場12:45)

*表彰式典:13:30～14:05(予定)

*講演会:14:15(式典終了後)～15:45

*テーマ:「南海トラフ地震臨時情報とは何だったのか」



にしやま さとし

講師: 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 西山 哲 氏

《会場》 西大寺公民館 大ホール

《参加費》 無 料 (申し込みが必要です。)

申し込み先 岡山市社会福祉協議会東区事務所

☎/Fax: 086-942-3260



～上南今昔絵図第2版～沖新田八十八ヶ所札所巡り～

芥子山から沖新田を一望する

一干拓の歴史を眼下にし、池田綱政公や津田永忠と同じ感慨に浸る一

上南今昔絵図を片手に、4年間にわたり沖新田八十八ヶ所巡りをしてきましたが、その集大成として今回は、芥子山に登って広大な新田地帯を眺めてみようという企画が実現しました。

前日の雨に洗われ澄み切った空気のおかげで、芥子山に登ると眼下には吉井川や百間川、その河口には児島湾が開け、その向こうに小豆島や屋島など四国の山々まで見渡せました。

沖新田や幸島新田はもちろんのこと、興除新田や藤田新田まで一望できて、まさに池田綱政公や津田永忠(新田開発における土木巧者)と同じ気分に入ることができました。

芥子山に向かう途中の山裾には、倉安川が流れていて、江戸時代の参勤交代の時に岡山藩主の池田光政公がこの川を船で後樂園まで帰って行かれた様子を皆で想像しました。

また5合目あたりにある無量寿院の奥之院付近では、毎年西大寺観音院から会陽の宝木(しんぎ)の原木取りに行列がやって来るといふ神事の話聞き、改めて芥子山がこの地域では重要な信仰の山であることが分かりました。

下山の途中、大多羅寄宮跡(おおだらよせみやあと)では光政時代の神社統廃合政策の歴史を学んだ後、布施(ふせ)神社で昼食をとりながら、後樂園でボランティアガイドをされている富岡幸子さんから「岡山藩のお殿様は、お城で疲れたら後樂園の中にある延養亭(えんようてい)の居間からお庭を眺めて静養されていたそうです。素晴らしいお庭の向こうには当時から操山と芥子山が借景として広がっていました」という話をお聞きました。

芥子山は、今から3億年前に生まれ、戦国時代以降に人の手による干拓が進むまでは操山などと同様に児島湾にぽつんと浮かぶ島の時代が長く続きました。その証拠に、山麓には古代の人が食した貝殻などが生活用品とともに捨てられた貝塚という遺跡が残っています。

また、この地域では唯一の高い山として、芥子山は山岳信仰の修行の場になったり、生きとし生けるものの魂が戻っていく霊山としての役割も果たしてきました。

その昔、芥子山の山裾までが波打ち際だった児島湾は、現在かなたに遠ざかり、同様に昔は孤立した島だった児島も人々の営みによって陸続きの半島へと変わっています。

見渡す限りの大海原を実り多い豊かな大地へと変貌させた先人の知恵と勇気に感謝しつつ、私たちも祖先の思いを受け継ぎながら、この大切な干拓地を未来に向けて守り続けていきたいと皆で願いました。

文:「上南歴史を伝える会」奥山玲子